

苦しさから得たもの、そしてこれから

C.D氏(10代女性、学生)

いきなりですが、皆さんの一番怖いことは何ですか？わたしは親に怒られることでした。なるべく怒られないように嫌われないようにするために何でも我慢して笑顔でいるように心がけました。私の家庭環境は良好とは言えず母親もヒステリックだったため私にとって、毎日が必死でした。いつかそれが限界に達して私は母親に「今まで辛かったんだ」と打ち明けてしまいました。でも私はその日、本音を吐き出すのはこんなにもスッキリするものなのだと、これからはもっと自分の思っていることを言ってみようと考えを改めました。

次の日、私は母に眼科に行くことだまされてこの太田病院にきました。最初は物凄く嫌でした。他の入院患者さんとすれ違ったりする度に私はこの人たちとは違うはず、病気なんかじゃないのにと苦しみました。入院一日目から書き始めた日記には不安がぎっしりつまった長文でした。でも徐々に日記の内容は明るくなっていき、文も短くなり、いつしか日記を書くことをやめていました。

直接、家庭環境だったり親の性格が変わったわけではありません。ただ、私が一人で抱え込まずに、家のことを相談できる大人の人が増えました。看護師さんだったり、先生だったり、仲良くなった患者さんだったり……。それは私にとって大きな支えでした。今でも正直悩みは沢山あります。でも今の私がいるのは今までのひどく辛い経験があってこそのことだと思うので、もし何か辛いことがあったら気が済むまで泣く、そして次の日には立ち直るという前向きな習慣を身につけました。

ちなみに私の好きな名言は、イチローの言葉で、「壁は乗り越えられる人の前にしか現れない」です。

退院してから少しの間アニマルセラピーのボランティアをさせていただき、普段出会うことのない様な友人や知り合いが沢山出来たことは社会性を身につける上で良い経験だったと思います。院内学校にも通えたおかげで、この春公立高校に合格することが出来ました。

私の将来の夢は幼稚園教諭です。目指し始めたきっかけは、私が幼稚園児の時の担任の先生がとても優しく誰にでも慕われるような人柄の好い方で、その先生に強い憧れを持ったことと、純粋に子供が好きだからです。

去年、その先生と十年ぶりに再会しました。昔と全然変わってもなく、今は小学校の先生をやっている、教育大学の出身だったと知り、私の目標は教育大学への進学となりました。その先生みたいに子ども第一で児童のことを沢山ほめてあげられるような先生になりたいです。そのために日々の学習に努めること、あこがれの気持ちを忘れないことを心に夢に向かって頑張っています。